



精神科病棟・肩関節治療センター等増改築工事竣工

昨年12月にはじまった精神科病棟・肩関節治療センター等増改築工事が、おかげさまでもちましてこのたび竣工となりました。すでに10月から肩関節リハビリテーションセンターが稼働、そして12月には精神科病棟が稼働となる予定です。これに伴い、これまで当院東エリアで営業していたメンタルケアセンターあづみ（精神科デイケア・精神障害者就労支援室・相談支援事業所・訪問看護ステーションいやし・通所リハビリテーション）の建物はその役割を終え、現在各事業所はすべて当院の敷地内への移転が完了し、以前と同じ内容で事業を継続しております。工事中は仮設通路の利用や騒音等で大変なご不便とご迷惑をおかけいたしました。竣工によりアメニティや療養環境の改善が期待されます。ぜひご来院の折には建物をご覧くださいと思います。

新規!! 病診連携登録医

おかげさまで、当院の連携登録医制度に、下記の先生に新規お申し込みをいただきましたのでご紹介いたします。今後末永いお付き合いをよろしくお願いいたします。（2018年11月末現在、病診連携登録医数 98 施設）

医院・施設名	医師名	登録月
おかもとファミリー歯科（安曇野市）	岡本 望 先生	2018年9月
せりざわクリニック（池田町）	芹澤 由樹子 先生	2018年10月
しんたにクリニック（白馬村）	新谷 りょう介 先生	2018年10月
大町市国保美麻診療所（大町市）	加藤 利雄 先生	2018年11月

『病診連携登録医募集のご案内』（地域の医療機関の先生方へ）
当院では、患者さんを中心とした地域医療を円滑に推進するため、地域の医療機関の先生方のご支援・ご協力をいただきながら、地域医療連携をさらに充実・発展・密なものとするべく『病診連携医登録制度』を設けております。詳しくは、地域医療連携課へお気軽にお問い合わせください。（担当：木島）

患者さんのご紹介等に関するお問い合わせ・ご要望は、地域医療連携課で承っております



北アルプス医療センターあづみ病院 地域医療連携課

TEL（直通）0261-61-1455 FAX（直通）0261-61-1456
E-mail renkei@azumi-ghp.jp
受付時間 平日8時30分～17時00分 土曜日8時30分～12時30分（診療日に限ります）

連携室だより

2018年12月発行 JA長野厚生連 北アルプス医療センターあづみ病院 〒399-8695 北安曇郡池田町大字池田 3207-1

編集発行／地域医療連携課 TEL 0261-61-1455 FAX 0261-61-1456

連携室だより

北アルプス医療センターあづみ病院 理念

質の高い医療と社会への貢献をとおり、地域の皆さまから信頼される病院を築きます。

肩関節治療
センター
Shoulder joint
Treatment Center

CONTENTS

第55回地域連携懇話会

第19回病薬連携懇話会

新任医師紹介

がん相談支援センター・がん患者サロン

精神科病棟・肩関節治療センター等増改築工事竣工

新規!! 病診連携登録医



北アルプス医療センター あづみ病院 地域医療連携課

《表紙：新しくなった肩関節リハビリテーションセンター》

64
December 2018

第55回地域連携懇話会



演 題：「地域の先生方から当院へ紹介いただいた患者の症例検討会」

報 告：循環器内科 東方 壮男 医師 「ポリファーマシー ～地域の先生方はどうお考えですか？～」
 精神科 岡田 文美子 医師 「治るということの難しさ、在宅へ家族の背中を押したものは？
 ～1年前は原付を乗り回していた老年期うつ病の89歳女性～」
 歯科口腔外科 中野 僚子 歯科医師 「下顎からの排膿の原因は何か？ ～外歯瘻からの排膿にて紹介された一例～」
 整形外科 中村 恒一 医師 「指デグロージング損傷 ～機能的、形態的な再建を目指して～」



2018年10月23日、当院やまなみホールにおいて、第55回あづみ病院地域連携懇話会を開催しました。今回は当院診療部長兼循環器内科部長の東方壮男医師、こころのホスピタル事業部精神科・心療内科の岡田文美子医師、歯科口腔外科の中野僚子歯科医師、整形外科部長兼手術部長の中村恒一医師より、「地域の先生方から当院へ紹介いただいた患者の症例検討会」の報告を行いました。

東方医師からはポリファーマシーにかかわる話題提供があり、見直しに取り組んだ成果や今後の課題などについての報告がありました。岡田医師からは、老年期うつ病の患者さんについて、症状の経過や検査、診断に至るまでの流れなどの丁寧な報告がありました。中野歯科医師からは、下顎からの排膿原因を各アプローチから探ったところ、追加問診で舌癌の既往がわかり、診断・治療に結びついたことの報告がありました。中村医師からは、仕事上の倒木によって右小指を切断された患者さんの治療方法と経過について、画像も交えての紹介があり、さらに治療上の心がけなどの報告がありました。

報告後は地域の先生方、そして救急救命士の方からのご質問、また日頃の思いについても語っていただき、実りある情報交換の場となりました。

次回は来年2月の開催を予定しておりますので、大勢の先生方の参加をお待ちしております。 出席者数：院内外合わせて53名（地域医療連携課 山崎 裕美）

2018年8月30日に今年度第1回目の病薬連携懇話会を開催いたしました。今回は当院消化器内科部長兼内視鏡室長の村木崇医師に講演をしていただきました。当院では本年4月に先生が赴任されるまで、長らく常勤の消化器内科医が不在であったため、あらためて消化器疾患について教えていただきました。

消化器癌については最新のエビデンスや統計をわかりやすく示していただき、内視鏡的粘膜切開剥離術を動画で見せていただきました。時折、先生のアメリカ留学中のお話も織り交ぜながら、薬剤師からの質問にも丁寧に返答いただき、1時間半、知識を深めることができました。そして『消化器内科医としての役目は、おいしくご飯をたべてもらう』という先生の理念をお聞きすることができたことが、今回いちばんの成果であったように感じました。

先生には年内に再度大北薬剤師会で講演していただく予定であり、内視鏡治療での抗血栓薬の中止や再開、ポリファーマシーについて等、薬薬連携を生かしての地域連携パスの取り組みに繋げていければと思います。（薬剤部 松本 和子）



講演：「胆膵疾患の診断と治療 標準的治療と今後の展望」
 講師：あづみ病院 消化器内科部長 兼 内視鏡室長 村木 崇 医師

第19回病薬連携懇話会

新任医師紹介



中村 麗那

（なかむら れいな）

消化器内科

出身大学
専門医等
所属学会

- ◆ 関西医科大学（平成21年3月卒）
- ◆ 日本内科学会認定医
- ◆ 日本消化器病学会専門医
- ◆ 日本内視鏡学会専門医
- ◆ 日本内科学会
- ◆ 日本消化器病学会
- ◆ 日本内視鏡学会

◆ 10月よりお世話になっております中村麗那と申します。大学を卒業後、地元である長野県に戻り信州大学などで勤務し、主に消化管内視鏡検査・治療など胃腸系を専門にまいりました。これといった趣味はないのですが、学生時代はバレーボール一筋でした。仕事を始めてからは運動不足で、階段の上り下りがやっとなです。今は子供を追いかけて走り回り、図鑑を眺めて苦しい昆虫などに免疫をつけたり、特撮ヒーローに詳しくなっていく日々です。初めてのの大北地域ではありますが、少しでもお役に立てるよう精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

がん相談支援センターとは、全国の国指定のがん診療連携拠点病院などに設置されている「がん相談窓口」です。当院では2010年7月から、がん相談支援センターの指定を受け、がんの治療や療養に際して、患者さん、ご家族、地域の方々のさまざまな相談に応じております。

相談内容は、治療決定時の迷いや選択の難しさ、治療開始前後の不安や悩み、経済的な問題、検査結果について、治療の副作用や身体的な症状に関することなど、さまざまです。そのような相談を、多職種と連携を取りながら、がん診療に関する情報提供などを行い、患者さんやご家族を支援しております。当院では外来棟2階の通院治療室、緩和ケア外来と同じ場所に設置されており、どなたでも無料で、面談、または電話にてご相談いただけます。

また、今年の8月からは、がん患者さんやそのご家族が、同じ体験をした仲間と語り合える場所として、毎月第3金曜日に、当院7階のやまなみホールにてがん患者サロン「てるてるサロンあづみ」を開催しております。がんに関する不安や悩み、日頃思っていることなどを自由に語り合える場として考えており、今後は月ごとに語り合いのテーマを決め、専門職や業者からの勉強会なども計画しております。微力ながら地域に貢献していきたいと考えておりますので、ぜひご利用ください。

（がん相談支援センター看護師・がん専門相談員 西澤 ますみ）



がん相談支援センター がん患者サロン

